

★マーケティングの精度・効果を向上させる、RWDの上手な使い方とは？  
これからのマーケティングツールとして、ぜひ知っておきたい必須の手法！

# リアルワールドデータの 医薬品マーケティングへの具体的活用法

～NDBオープンデータ・大規模処方データの統合的活用とそのモデリング～

●日時：平成29年11月28日(火)10:30～16:30

●会場：[東京・五反田]日幸五反田ビル8F技術情報協会セミナールーム

●聴講料：1名につき 55,000円(消費税抜、昼食・資料付)→講師紹介特別割引により、定価の2割引きでご受講いただけます

## 1. NDBオープンデータやRWDを活用した医薬品マーケティング ～モデリングや活用のポイント～

[10:30～12:30]

東京大学大学院薬学系研究科 ファーマコビジネス・イノベーション教室 特任准教授 清水央子 氏

【講座主旨】「ビッグデータ」、「リアルワールドデータRWD」や「統計学」などの言葉が医療の世界でも話題に上るようになって久しいが、日本では国民皆保険制度の下レセプト情報を中心にその利活用が進んでいる。その一方、カルテなど診療記録は、数十施設単位で集積されたデータベースが散在している状況である。個々のデータベースは有益な情報を与えてくれるが、それぞれに情報の粒度が異なり、カバレッジも限定的である。したがって各種の課題やリサーチクエストに対して回答を導き出すためには、さまざまな情報を統合するためのモデリングやデータサイエンスが鍵となる。本講座では、医療ビッグデータの現状と課題を体系的に明らかにするとともに、最近公開された「NDBナショナルデータベース」(オープンデータ)をはじめ、RWDを活用した医薬品マーケティングについて議論する。

### 【講座内容】

- 1) 医療ビッグデータとRWDリアルワールドデータ
  - ・日本における医療情報データの集積状況と課題

- ・医薬品に関するRWD
- 2) 医療に関するオープンデータ(政府統計)
  - ・「NDBオープンデータ」
  - ・「DPC導入の影響評価に係る調査」
  - ・「社会医療診療行為別統計」
  - ・「患者調査」
  - ・「調剤医療費の動向」
  - ・「医療施設調査」等
- 3) RWDを活用した医薬品マーケティング
  - ・販売データ vs. 処方データ
    - RWDで何がわかるようになったか
  - ・Patient Cube NxDxD
  - ・患者数の推定と市場のセグメンテーション
  - ・医薬品の売上予測

## 2. リアルワールドデータの医薬品プロモーション・医療経済評価への活用

[13:15～14:45]

クレコンメディカルアセスメント(株) シニアマネージャー 村田達教 氏

【講座主旨】レセプトデータ等のリアルワールドデータを用いたアウトカムリサーチにより医薬品の価値を最大化するための手法について概説する。また、医薬品の費用効果分析にリアルワールドデータを用いる際の利点や注意点について解説する。

### 【講座内容】

- ・はじめに
- ・レセプトデータから取得できる情報
- ・レセプトデータを用いたアウトカムリサーチの手法
- ・レセプトデータを医薬品の費用効果分析に用いる際の利点や注意点

## 3. 大規模診療データの活用による医薬品営業・マーケティングの効果最大化

[15:00～16:30]

メディカル・データ・ビジョン(株) EBM事業部 中村正樹 氏

【講座主旨】現在日本において、大規模診療データが様々な用途で活用されている。本講演では日本において利用可能なデータベースと特徴、医薬品市場における活用状況を解説します。

### 【講座内容】

- ・日本において利用可能なデータベース
- ・それぞれのデータベースの特徴
- ・診療データ活用において出来ること

- ・MDVデータベースの特徴
- ・MDVデータベースの活用事例
- ・診療データの今後の活用可能性

その他、癌、肝炎等の領域別の活用事例を説明予定です。セミナー受講予定者には、事前アンケートを送付いたしますので、そちらに「●●領域における分析事例を希望」というふうに、貴社の対応希望領域をご記入のうえご送付いただけましたら幸いです。

「リアルワールドデータ」セミナー申込書

No.711109

11/28

【講師紹介割引 聴講料2割引】

会社名	〒	事業所・事業部		講師からの紹介として、聴講料を2割引いたします。 2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。 申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。 お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りします。
住所	〒			個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします
TEL		FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail	
受講者1				
受講者2				

今後、定期的な案内を希望されない場合、案内方法に×印をお願いいたします。  
(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)

[ 郵送(宅配便)・FAX・e-mail ]

 **技術情報協会**

TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080